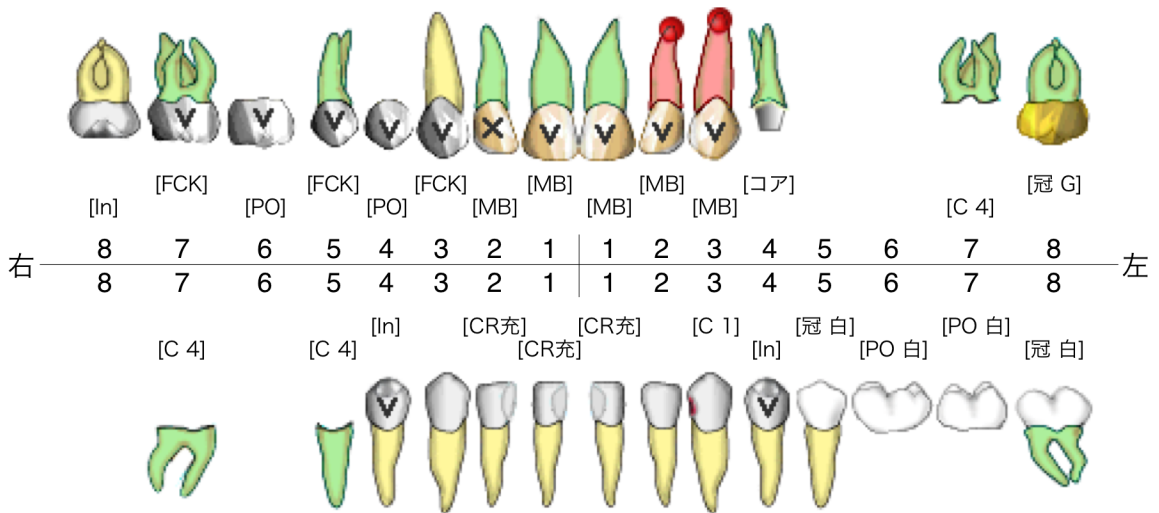


ムシ歯診断書



- CO：COは、放っておくとムシ歯になってしまう可能性があります。ムシ歯にならないよう予防しましょう。
- C1：歯の表面のエナメル質に及んだ状態で、痛みはあまり無く治療も極簡単です。
- C2：エナメル質よりも柔らかい象牙質にまで及んだ状態で、冷たいものがしみる等の自覚症状がでできます。治療がやや複雑になり、麻酔を必要とすることもあります。
- C3：すでに神経にまで及んでいるため、痛みのため寝付かれないこともあります。炎症を起こしている神経を取り除く治療が必要です。
- C4：C3が悪化した状態で、残根と表示しています。歯の表面はもとより内部の神経も破壊されており、元に戻すことはほぼ不可能なため、歯を抜くことが必要です。

あなたの歯の状態が絵で表示されています。

茶褐色で表されている部分が、ムシ歯の状態です。

×印がついた歯は、一度治し終えた歯にまたムシ歯ができています。また、治さなくてはなりません。

レ印がついた歯は、一度治療し終えた歯の詰め物・被せ物の不適合や根の病気の再発により、再度治療が必要です。

奥歯に3本ムシ歯があります。前歯に2本ムシ歯があります。

前歯は奥歯に比べ歯が薄いため、進行の程度もそれだけ深くなります。歯と同じ色をした材質のものでつめるか、場合によっては神経をとる治療が必要となります。

C1はごく軽いムシ歯で、治療も簡単に済みます。

残根は、保存が困難です。歯を抜く治療が必要です。放っておくと、骨の部分にまで病気が表れ、また、隣の歯もムシ歯になってしまいます。

欠損は歯が抜けてしまった状態です。このまま放っておくと、歯はしだいに歯のない方向へ移動してしまい、バランスをくずしてしまいます。



大川歯科医院

〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本4-6-1
TEL 078-452-3910 FAX 078-412-6610
<http://www.ohkawa-dc-pic.com>